

折々の言葉（梅津寿一編）

- * 努力する限り、人間は迷うものだ——ゲーテ
(Es irrt der Mensch, solange' er strebt.)
ゲーテ「ファウスト、天上の序曲」 317 (2014.04.11)

- * 真実のことは、つねに繰り返し言わねばならない。なぜなら、誤謬もわれわれの周囲に
繰り返し説かれているから——ゲーテ
エッカーマン「ゲーテとの対話」 (2014.07.07)

- * 読書は充実した人間を作り、会話は気が利く人間を、書くことは正確な人間を作る。
フランシス・ベーコン「ベーコン随想録」

- * 悪魔は思ったよりしばしば真理を語る、が聴き手の方はみな無知とくる——バイロン
バイロン卿「不具の変容」、出典：エッカーマン「ゲーテとの対話上—p234」
(2015.08.25)

- * 無知とは知識の欠如ではなく、知識に飽和されているせいで、未知のものを受け入れる
ことが出来なくなった状態を言う——ロラン・バルト
内田樹編「日本の反知性主義」 p20 (2017.08.31)

- * 言葉の発し手と受け手とが、びたりと切り結んだ時、初めて言葉が成立する。
全身の重みをかけて言葉を発したところで、受け手がぼんくらでは、不発に終わり流れて
ゆくのみである——茨木のり子 (朝日新聞 2018.09.02)

- * 貧しいことは恥ではない。だが貧しさに安住することは恥である——ペリクレス
ペロポネソス戦争・戦後一年「戦没者追悼演説より」 BC431年

- * 運命とは神が定めるものではなく、われわれ人間が切り開くものである——ペリクレス
塩野七生「ギリシャ人の物語 II」 p175 (2018.03.04)

- * もっとも正しい戦争より、もっとも不正な平和を私は選ぶ——セネカ
山本七平「戦争責任と靖国問題」 p260 (2015.11.14)

- * 不正をなすよりは不正に苦しむ方がまだしも良い。禁じられた手段によって、願望を実現しようと望むのは間違っている。このことは古来より証明済みの真理である。

ヘルマン・ヘッセ「力の放棄」 (2015.05.19)

- * 老いた人々にとって素晴らしいものは、暖炉とブルゴーニュの赤ワインと、そして最後におだやかな死だ——しかし、もっとあとで、今日ではなく！ ——ヘッセ

ヘルマン・ヘッセ「老いる」——「人は成熟するにつれて若くなる」p27

(2015.05.30)

- * 一番立派なのは、ただひたすら正しくあること。
この上なく有難いのは健康なこと。しかし、何にもまして嬉しいのは、
恋いこがれていたものを手にすること——ギリシャ・デロス島「レト宮殿」

- * 今日、人間の最大の病気はライでも癌でもなく、自分は今誰にも呼び掛けられることのない無用な存在だと思ひ込むことである——マザー・テレサ (1992.11.01)

- * あなたの意見には反対だ！ しかし、あなたがそれを主張する権利は命をかけて守る——ヴォルテール (2016.03.06)

- * 天国へ行くのに最も有効な方法は、地獄へ行く道を熟知することである——マキャヴェッリ 塩野七生「日本人へ、リーダー編」p127 (2014.02.21)

- * へいわってすてきだね
へいわってなにかな。
ぼくは、かんがえたよ。
おともだちとなかよし。かぞくがげんき。
えがおであそぶ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。
やぎがのんびりあるいている——（後略）

沖縄慰霊の日に (2013.06.23)

安里有生（あさとゆうき）くん、与那国町・久部良小1年

* オゾン層にあいた穴をどうふさぐのか、
あなたは知らないでしょう。
絶滅した動物をどう生き返らせるのか、
あなたは知らないでしょう
どう直すのか分からないものを、
壊し続けるのはやめてください

1992年5月2日、リオデジャネイロ・地球サミット（国際生物多様性の日）
におけるカナダの少女（当時12歳）のスピーチ（朝日新聞（2019.06.02）

* 人類は
もうどうしようもない老いぼれでしょうか
それとも
まだとびきりの若さでしょうか
誰にも
答えられそうにない
問い
ものすべて始まりがあれば終わりがある
わたしたちは
いまいったいどのあたり？ ——茨木のり子（2019.06.02）

（2018.12.08）梅津寿一記

（2019.06.03）